

第 35 回

川村禎三杯柔道大会



日時 令和 7 年 3 月 21 日 (金)

場所 筑波大学 武道館

主催 川村杯実行委員

協力 筑波大学柔道部

# 川村禎三杯柔道大会

この大会は、筑波大学初代柔道部長を務められた川村禎三先生を記念し、高校柔道の健全な発展を目的として、1987年から開催されています。

企画、運営は筑波大学柔道部学生が行っています。第11回までは団体戦で行われていましたが、1997年の第12回大会からは、敗者復活方式も取り入れた体重別個人戦を行っています。

## 川村禎三 先生

先生は、盛岡のご出身で、筑波大学の前身である東京高等師範学校体育科を卒業され、東京学芸大学講師、助教授、教授、筑波大学の教授を歴任されました。筑波大学開学初より初代柔道部部長として、11年間に亘って文字通り本学柔道部の礎を築かれました。

筑波大学を定年退官の際には、その教育と研究業績が認められ、筑波大学名誉教授とされました。

選手としては、天覧試合、全日本東西対抗、全日本学生東西対抗、国民体育大会、全国10地区優勝大会など全国的な大会において活躍される等輝かしい競技実績を残されています。また、世界選手権大会、全日本選手権大会等の審判も務められ、1993年に九段に昇段されました。

社会的には、文部省の諸委員、全日本柔道連盟理事、及び武道学会理事・監事として日本国内の体育、柔道界の重要な組織運営に尽力されました。国外でも国際柔道連盟の初代スポーツ理事、審判委員会委員等を18年間も務められるなど、柔道の国際的普及発展に果たした役割は極めて大きいものがあります。その功績が認められ、1979年の退に際して、永久名誉役員に推挙されました。さらに従四位勲三等瑞宝章を叙せられ、

2003年1月、80歳にて、偉大なる生涯を閉じられました。

# 大会次第

## ◎開会式（9：00）

1. 選手整列
2. 開会宣言           筑波大学柔道部主将   白金宏都
3. 会長挨拶           大会会長   岡田弘隆
4. 試合上の注意   審判委員長   岸波拓真
5. 選手宣誓

## ◎試合開始

## ◎閉会式

1. 選手整列
2. 成績発表ならびに表彰
3. 講評               大会会長   岡田弘隆
4. 閉会宣言           実行委員長   旭征哉

# 大会役員

◎大会会長

岡田弘隆

◎実行委員長

旭征哉

◎実行委員

吉田湧登 田窪成将 有瀬心里 大塚功太郎

◎審判委員長

岸波拓真

◎審判委員・掲示・時計・記録

筑波大学柔道部

# 大会要項

1. 主旨 永年、筑波大学柔道部長として尽力された故川村禎三先生の残された業績を末永く記念し、あわせて高校柔道の振興を図る。
2. 日時 2025年3月21日(金) 計量 午前7:00~8:00  
監督会議 午前8:20 開会式 午前9:00  
試合開始 午前9:20
3. 会場 筑波大学武道館柔道場 Tel: 029-853-2583
4. 主催 川村禎三杯柔道大会実行委員会
5. 協力 筑波大学柔道部
6. 参加資格 (1) 茗柏会会員の指導している高等学校  
(2) 実行委員会の認めた高等学校
7. 保険代 選手1人につき300円 ※当日回収
8. 参加申込 (1) 締め切り 2024年2月25日(火) 必着 ※期限厳守  
(2) 申し込み方法 E-mail  
申込先住所: 〒305-8574 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学柔道部川村杯実行委員会  
※選手変更は当日、受付まで。ただし階級の変更は認めない。
9. 試合方法 (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定に従い、試合時間は4分。間とする。  
※4分間で決着がつかなかった場合GSを行う  
(2) 試合はトーナメント戦で行い、敗者復活戦はベスト8に進出した選手のみを対象とする。  
(3) 60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級の7階級で行う。  
(4) 一校につき各階級4名まで参加できる。  
(5) 計量は時間内において合格するまで何度でもできる。  
(6) 計量はプラス2.0kgまでを合格とする。
10. 組み合わせ 申し込みを受け付け次第抽選を実施し、結果を川村杯HPに掲載する。
11. 表彰 優勝(1名)、準優勝(1名)、第三位(2名)を表彰する。
12. その他 主催者は、大会出場選手の傷害に対して、傷害保険に加入し、負傷の際には応急処置を施すが、それ以外の責任は負わない。  
尚、選手は、当日保険証(コピー不可)を持参すること。《皮膚

真菌症について》皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場を禁止する。（ただし、2 週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める）

《脳震盪について》

- (1) 大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること)
- (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- (4) 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

大会本部

第2試合場

第1試合場

第4試合場

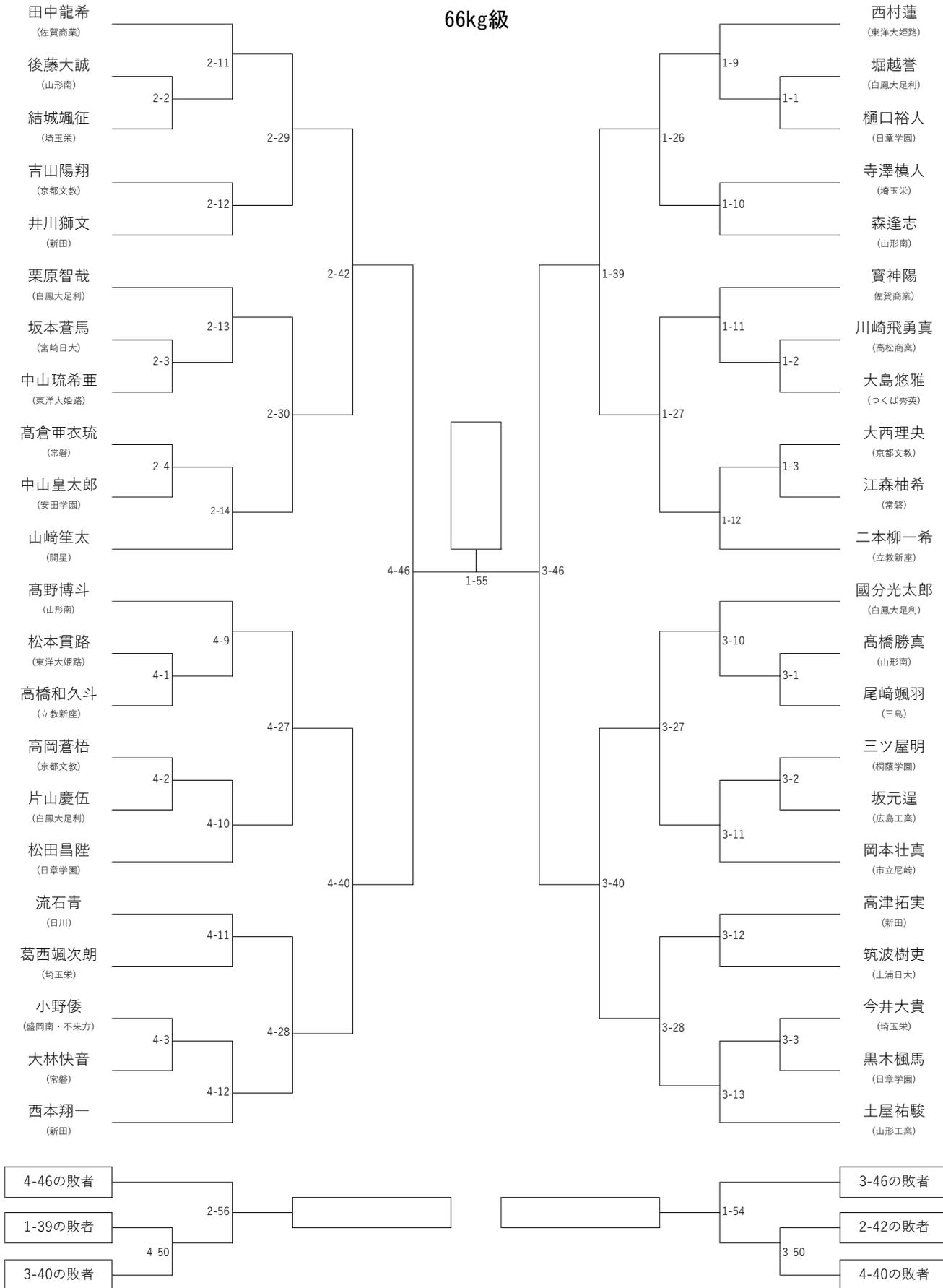
第3試合場

出入口

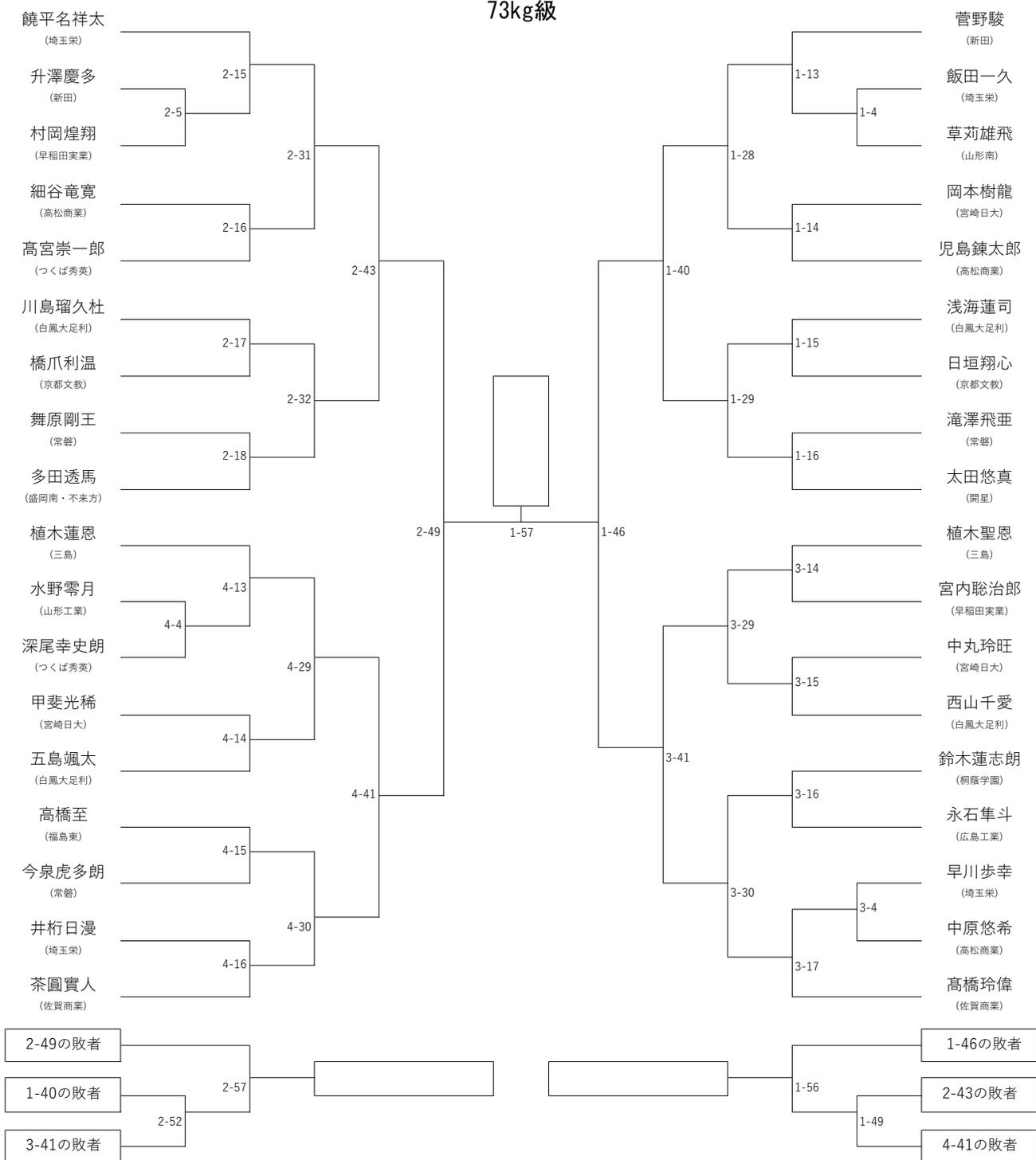
# 60kg級



# 66kg級



# 73kg級



# 81kg級



# 90kg級

久保陽太郎  
(高松商業)

星拓西  
(つくば秀英)

野邊優心  
(宮崎日大)

波多野優平  
(白鳳大足利)

河野武  
(新田)

小松大峨  
(埼玉栄)

猪ヶ倉大地  
(日章学園)

齋藤貫太  
(常盤)

紫和純平  
(高松商業)

野村泰寿  
(土浦日大)

堂脇龍真  
(広島工業)

横山生  
(白鳳大足利)

沖村拓海  
(開星)

坂中凌  
(市立尼崎)

高山英誉  
(埼玉栄)

五味田俊介  
(つくば秀英)

恩田翔琉  
(白鳳大足利)

溝口博斗  
(高松商業)

村岡遼心  
(山形南)

須藤瑠粋  
(埼玉栄)

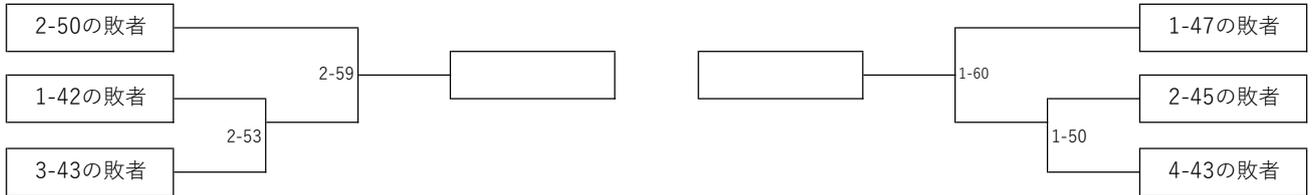
瀬上蒼太  
(早稲田実業)

細谷健斗  
(高松商業)

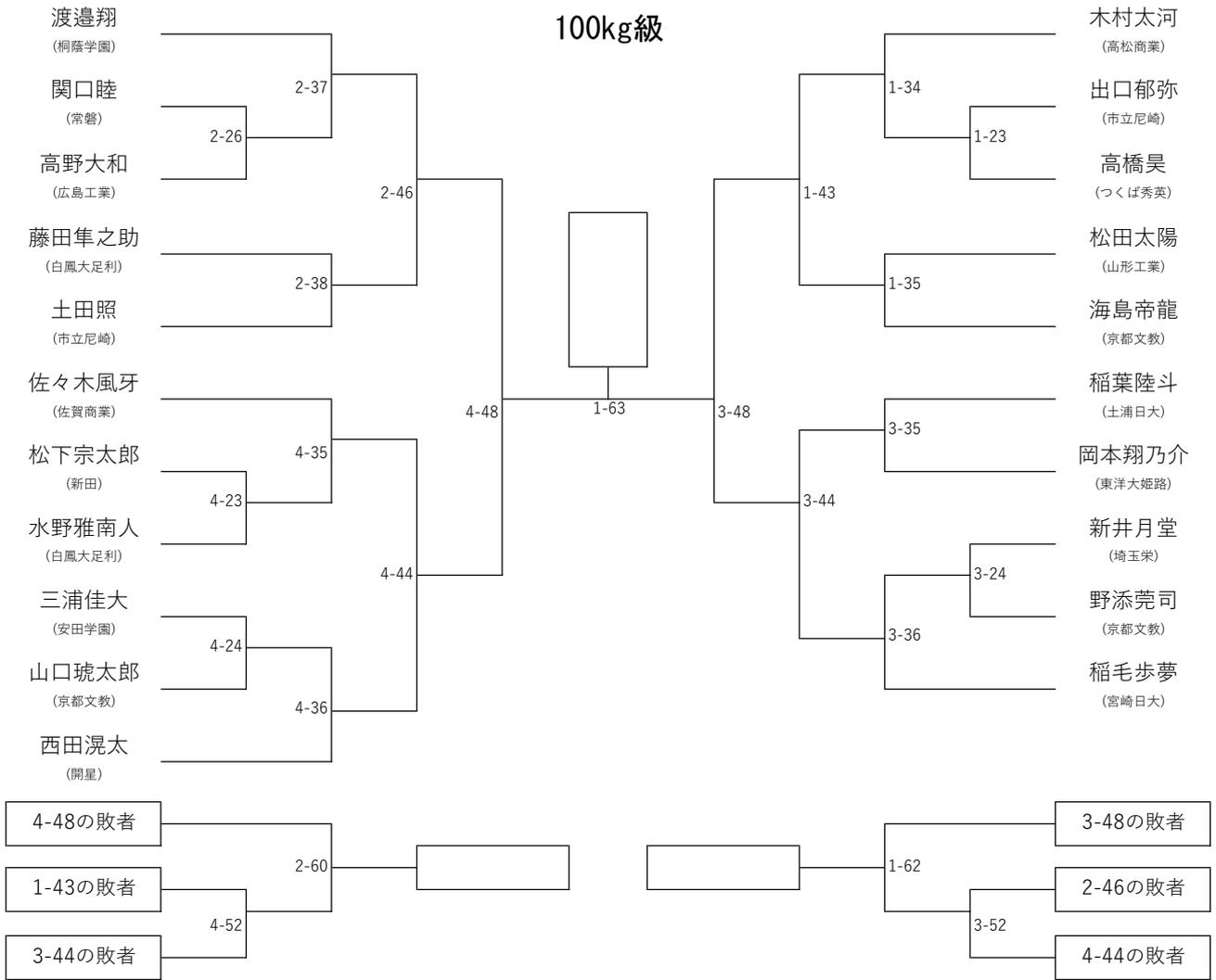
勝田琉之介  
(安田学園)

鳥入陽真  
(宮崎日大)

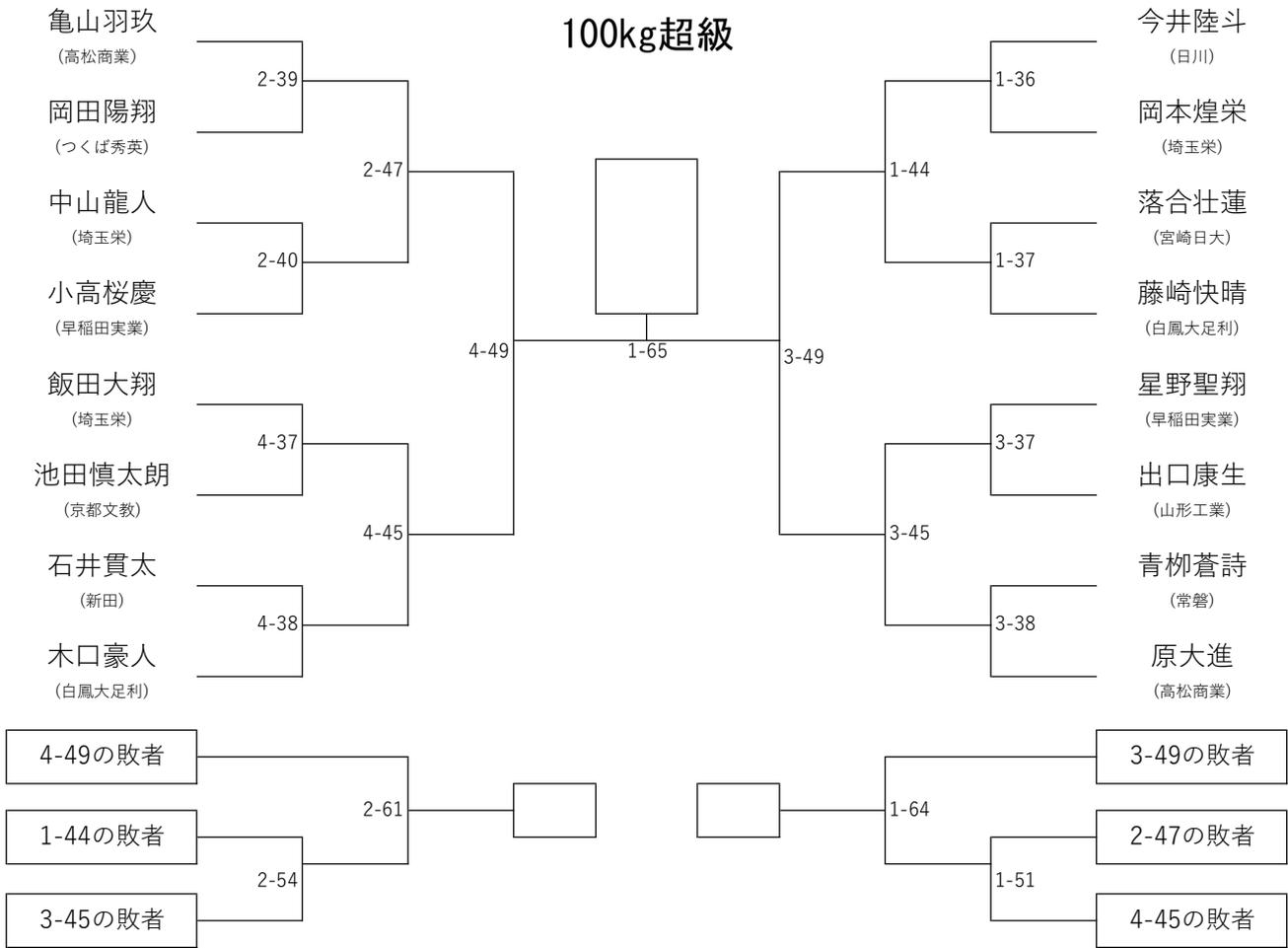
シンジリアマルバヤスガラン  
(白鳳大足利)



# 100kg級



# 100kg超級



# 試合順

	第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
各階級トーナメントを4分割し準々決勝まで実施				
~準々決勝	44試合	47試合	45試合	45試合
一度揃えて				
準決勝	60kg準決①	60kg準決②	66kg準決①	66kg準決②
	73kg準決①	73kg準決②	81kg準決①	81kg級②
	90kg準決①	90kg準決②	100kg準決①	100kg準決②
			100kg超準決①	100kg超準決②
敗者復活戦	60kg敗復①	60kg敗復②	66kg敗復①	66kg敗復②
	73kg敗復①	73kg敗復②	81kg敗復①	81kg敗復②
	90kg敗復①	90kg敗復②	100kg敗復①	100kg敗復②
	100kg超敗復①	100kg超敗復②		
一度揃えて				
3決、決勝	60kg 3 決①	60kg 3 決②		
	60kg決勝			
	66kg 3 決①	66kg 3 決②		
	66kg決勝			
	73kg 3 決①	73kg 3 決②		
	73kg決勝			
	81kg 3 決①	81kg 3 決②		
	81kg決勝			
	90kg 3 決①	90kg 3 決②		
	90kg決勝			
	100kg 3 決①	100kg 3 決②		
	100kg決勝			
	100kg超 3 決①	100kg超 3 決②		
	100kg超級			